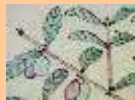


苫東環境コモンズの
活動をまとめて報告



haskap

NEWS LETTER

~ コモンズの現地から発信する ~

勇払原野のSPIRIT

コモンズの視線

新年もあっという間に2月に入りました。またまた間を置いてしまいましたが、8号目のニュースレターをお届けします。このところ、わたしたちのNPOの立ち位置を再確認する機会が相次ぎました。子供たちへの環境教育を手がけるでもなく、木を植えるイベントをするでもなく。そ、わたしたちは一所懸命に地域の木を切っています。黒子のように地味に、毎週、チェーンソーとお弁当を積んだソリを曳いて。でもなんていうのでしょうか、確実に雑木林が変わっていく様をみるのは、素晴らしい。この感覚をもっとたくさんの方にもお届けしたい。フラットな里山で仕事ができる幸運に感謝。(事務局：草苺)

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/hayashi-kokoro/commons00.html>

9月上旬からの活動報告

各行事最後の数字は参加者数

- 09/08 sat つた森ルート刈り払い完成 3
- 09/13 thu コモンズ研究会の欧州コモンズヒアリング~9/25(草苺・個人参加)
- 9/29 sat 視察用フットパスと広場の刈り払い 2
- 09/30 sun 当別の森づくりグループ『シラカンパ』一行が苫東コモンズ視察。大島山林 10時、柏原展望台、フットパス、そして小屋で昼食。歩いてつた森まで行きそこで解散予定が、雨のため最後はバスで。2+14
- 10/01 mon 17:30--理事会 4
- 10/06 sat 育林コンペの看板など小屋で&キノコ採り 4
- 10/09 tue 東大富士吉田の演習林グループがフットパスとコモンズ視察 1+8
- 10/14 sun 育林コンペのエントリー看板設置&キノコ調査&落ち葉トイレの移動 4
- 10/20 sat NPOの第3回通常総会 13:30 遠浅の公民館 懇親会あり 13
- 10/28 sun 大島山林新ルートづくり、小屋作り 5
- 11/04 sun チェンソーと選木技術スキルアップゼミ(講師;abeさん、育林コンペ開始) 11
- 11/10 sat きたネットフォーラム@札幌・草苺 1
小屋掃除、薪割り、その他間伐準備 3
- 11/11 育林コンペ準備作業その他 1
- 11/17 sat 札幌ウッディーズ合同作業@大島山林 3+11
- 11/24 sat 大島山林のルート変更、フットパスの根きりなど 3
- 12/01 sat 大島山林の本格作業、小屋がけ、一部育林コンペの様子見など 6+10
- 12/08 sat 山ノ神参拝(作業なし) 7
- 12/15sat 大島山林&小屋 6
- 12/22sat 大島山林の保育 苫 5+札 5=10
- 01/05sat 仕事始め@大島山林 3名+1名(kikuchi)

01/12 sat 大島山林の保育。今週は inaba さん & shunken さん、kurita さんも。7名。

01/19 sat 大島山林の保育 3名

01/23 wed 勉強会「森林系社会的企業最前線」
牧大介さんを招いて@札幌エルプラザ

01/26 sat コープさっぽろ 未来の森づくり
第3回北海道の森づくり交流会 札幌会場で原口代表が贈呈を受けます。また、わたしたちは苫小牧会場の日吉町の生協でテレビ画面で参加。
(inaba、hekisui、kusakari)

TOPIC 1

コープさっぽろから高額助成受ける

9月末に申請したコープさっぽろの25年度の高額助成(100万円)申請の採用通知を12/25のクリスマスの日にJRの車内でメールでもらいました。当NPOが手がけている地域コミュニティをベースにした新生産について、人力からやや機械化へシフトしようという動きに対して応援してもらえることになったのです。

申請書はこれまではすべて人力で行ってきた



部分の藪ダシをスノーモービルで、また斧でひとつずつ割っていた薪割を巻き割り機に転換すること、その意味な

などを丁寧に表現しました。コミュニティの森で薪を作ってエネルギー循環をするというシンプルな取り組みがわかりやすくアピールしたのかも。

1/26 コープさっぽろの札幌オフィスの目録授与には原口代表が、苫小牧オフィスのサテライトには inaba、nakatu、草苺の3名がテレビ会議

に参加しました。写真は苫小牧の大型画面に移された札幌の授与式。

TOPIC 2

辻井先生がご逝去されました



苫東の環境についていろいろ相談に乗っていただき環境コモンズ研究会の委員も務めていただいた辻井達一先生

が1月15日朝、お亡くなりになりました。先生はNPOの小屋などにもしばしばカルチャーセンターの生徒さんなどおいでになり、ご紹介されました。こころよりご冥福をお祈りいたします。合掌

(写真は昨年8月のラムサール賞受賞記念式典@京王プラザ札幌)

TOPIC 3

前進基地でヌクヌクお昼



冬の現場に今年も青のテント小屋が完成し、毎週の土曜日のお昼が快適になりました。昨年より大型になり、薪ストーブも新調。燃料やオイルも常備するようにして、さながら前進基地の様相です。マイナスの外の仕事ですからお昼はどうしても温かい汁物がほしくなりますが、このニーズに薪ストーブがしっかりこたえてくれます。



今年は、山仕事をする人の数が従来の4名から8名に増えて、各人ともチェンソー一台ずつ持ったの参加

ですから、まだ初心者も混じる中確実に仕事は進んでいく感じがします。安全に、少しずつ手入れが進んで、たくさんの薪ができればということなします。

TOPIC 4

ポニーによる運材に期待

山仕事の協力な助っ人が現れそうです。木材を馬

で運ぶ馬搬。それも小回りの聞くポニーで、その名もリトルポニー。隣の団地に住むTさんと偶然に出会ってトレーニングを兼ねて



応援してくれるというもの。これから具体的段取りに取り組みます。一昨年、道産子の馬搬の可能性を探って半ば断念していただけに思わぬ朗報。大事に計画を練らねば。

TOPIC 5

ハスカップなどのレポートをアップ

この年末年始の休みを中心に、これまで中途半端になっていたレポートを精力的に仕上げました。先ずひとつは欧州コモンズの紀行各種。画像と英国、フィンランドと一応別立てにしました。報告というよりわたしの旅記録で、メモです。関心のある方はHPからご覧ください。

それに加えてハスカップに関するものと、林の手入についての所感。これは札幌市の公園緑地協会の求めに応じて書いたものです。これもホームページから入れます。

●最近アップしたレポート

写真集photo-report

英国のコモンズ紀行

2012年フィンランド紀行

風土の象徴「ハスカップ」の保全をめぐる試論
林の手入れと手応え

編集後記

今年の年間スケジュールを作って見ました。夏の一部は空欄にしていますが、ほかは毎週予定が入って、恐らく休みは、お盆と年末年始だけ。山の作業は習慣化しています。これで定年になったらどうするのでしょうか。毎日通うのでしょうか？ 予定の詳細はHPをご覧ください。

先日一般の方から、ご寄付を頂きました。遠隔地の会員の会費というのも実は会費という名の寄付金ですが、このところの懸案は、ニュースレターなどのお便りのほかに、なにかここのフィールドを代表するスペシャルギフトがないか、ということです。ひとつは「ハスカップ摘みご招待」、このほか今検討しているのは、コナラのボールペン、昨年まではヘビ(ミドリちゃんなど)の抜け殻のラッキーチャーム。みんなで考えて是非製品化したいと思います。(事務局)

お問い合わせ

NPO法人苫東環境コモンズ 事務局

草苺 kt-884-556@nifty.com

携帯 090-6999-2765